

農繁期

レポート

令和6年 4-5月号

ニールファーム

オーナー
産地
水田面積
保証量
形態品種

株式会社 新流
三重県伊賀地区
9.0アール
玄米252kg
無農薬栽培コシヒカリ



生産者 ツーライフ農園：北出茂樹さん

昨年は、高温の為に品質に影響が出ました。今年は、例年より1週間から2週間遅らせてコシヒカリの田植えを行いました。特に、JAS圃場は、最後の方に田植えをして、忙しさにかまけて、放っておく事の無い様に計画しました。今のところ、少し分けつが遅くは感じますが、そのうち追いつくのではと思っています。今年も宜しくお願い致します。

4月～5月の作業内容

1. 田んぼの準備

今年は雨の量が多く、田ごしらえに至るまでの作業にも時間を要しました。写真はトラクターが田に入れるように水路の泥上げをしている様子ですが、毎年異なる気象条件に対応する必要があります。

2. 苗づくり（育苗）

健全な苗を作るためには、細かい注意が必要です。種もみの浸漬、催芽（さいが：発芽を始める状態にすること）、播種、出芽、緑化とかなりの工程を経つつ、温度管理も慎重に行います。まさに職人の仕事と言えます。

3. 荒起こし・代かき

写真は代掻きの前に行う荒起こしの様子ですが、雑草の発生を抑えるためには重要な作業です。この後に水を入れて「代掻き」を行い、今後の稲の生育のためにもしっかりと「均平（きんべい）：平らにならすこと」に保ちます。

4. 田植え

代掻き作業から数日が経過した頃に行います。昔は田植え作業は家族総出で行う一大行事でしたが、今は特に高性能な田植え機のおかげで作業負担は軽減されています。稲の良好な生育をイメージしながら作業を行います。



水路の泥上げ



田植え機に設置した苗箱



荒起こしの様子



田植え